

授業科目 解剖学 II

【担当教員名】 奈良 貴史		対象学年	1	対象学科	理学・作業
		開講時期	前期・後期	必修選択	必修
		単位数	4	時間数	60
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○		
【概要・一般目標：G10】 解剖学 II では、特に運動器について骨学、関節・靭帯学、筋学に系統的に分け、それぞれについて名称、位置、構造、機能、ならびにそれらの相互関係を理解する。さらに神経系（中枢神経系、末梢神経系）について、その構造・機能を理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 骨格系の機能を概説できる。 全身の個々の骨を見分け、名称を言える。 椎骨の基本構造、頸椎・胸椎・腰椎の特色を説明できる。 椎間円板、脊柱彎曲の意義を説明できる。 上肢・下肢の比較し、各骨の臍部の名称を言える。 骨の連結の種類を説明できる。 関節の分類と代表例を説明できる。 滑膜性連結と靭帯を説明できる。 筋の種類、形態的特徴を理解し、体内の分布を説明できる。 骨格筋の構造とその付属器を概説できる。 主な骨格筋の名称、起始・停止、支配神経を理解し、簡単な作用を説明できる。 神経系を構造、機能の観点から分類し、それぞれを概説できる。 中枢神経系、末梢神経系の構成を概説できる。 中枢神経系を区分し、各々の機能を概説できる。 脳神経の番号、名称、主たる働きを説明できる。 脊髄神経を概説し、4つの神経叢の神経分布を説明できる。 交感神経系・副交感神経系について構造と機能を概説できる。 運動路、知覚路を概説できる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	骨とは 骨学総論			1, 2	
2	骨学各論 頭蓋			2	
3	脊柱			3	
4	胸郭			2	
5	上肢			5	
6	下肢			5	
7	関節・靭帯 総論			6	
8	関節・靭帯 各論 頭蓋の連結			7	
9	脊柱、脊柱と頭蓋の連結			8	
10	上肢の連結 - 1			8	
11	上肢の連結 - 2			8	
12	下肢の連結 - 1			8	
13	下肢の連結 - 2			8	
14	筋学 筋学総論			9, 10	
15	筋学各論 頭部の筋			11	
16	体幹の筋 - 1			11	
17	上肢の筋 - 1			11	
18	上肢の筋 - 2			11	
19	下肢の筋 - 1			11	
20	下肢の筋 - 2			11	
21	神経学 神経学総論			12	
22	神経学各論 神経とは			12	
23	中枢神経系 - 1			13	
24	中枢神経系 - 2			14	
25	末梢神経系 - 1 脳神経			15	
26	末梢神経系 - 2 脊髄神経			16	
27	交感神経系			17	
28	副交感神経系			17	
29	伝導路 - 1			18	
30	伝導路 - 2			18	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のための解剖学	渡辺正仁	南江堂	2000・5,500円
【評価方法】 出席状況・態度（遅刻、私語、居眠り等）、小テスト、期末試験の総合評価		【履修上の留意点】 不定期に小テストを実施します。総合評価にいられますので、欠席をしないよう注意すること。勉学範囲が広いので、日頃の復習が重要です。			